



-特集-

令和8年 菊川市 はたちの集い の集い

1月11日、文化会館アエルで令和8年菊川市はたちの集いが挙行されました。二十歳という人生の節目を迎えた561人は、これまで支えてくれた人々への感謝の気持ちを胸に抱き、大人への第一歩を踏み出しました。

問い合わせ 社会教育課社会教育係（中央公民館内 ☎73-1114）

561人が迎えた二十歳の節目

1月11日、文化会館アエルで令和8年菊川市はたちの集いが挙行されました。晴れの日を迎えた561人のうち、410人が式典に出席。スーツや羽織袴、振袖姿の二十歳の皆さんが集い、会場は華やかな雰囲気になりました。

式典開式前には、久しぶりに会う友人との再会を喜び、写真を撮ったり、話に花を咲かせたりしながら、旧交を温め合う姿が各所で見られました。

厳かな雰囲気にも包まれて始まった式典には、来賓のほか、これまで愛情いっばいに育ててくれた保護者などが多数出席し、二十歳の皆さんの晴れの日を祝いました。

長谷川寛彦市長は、「菊川市にとって、未来を担う皆さんこそが、かけがえのない『寶』です。皆さん一人ひとりの中にも、その人にしかない個性や可能性、良さや強みという固有の『寶』があります。この力を信じ、大切に育み、未来へと力強く伸ばしていただく」と門出を祝福。来賓からもお祝いの言葉が贈られました。

また、「はたちの決意」では、4人の代表が登壇。将来への抱負や家族などへの感謝の気持ちを力強く語りました。（代表4人の決意は、4〜5ページに掲載しています。）

